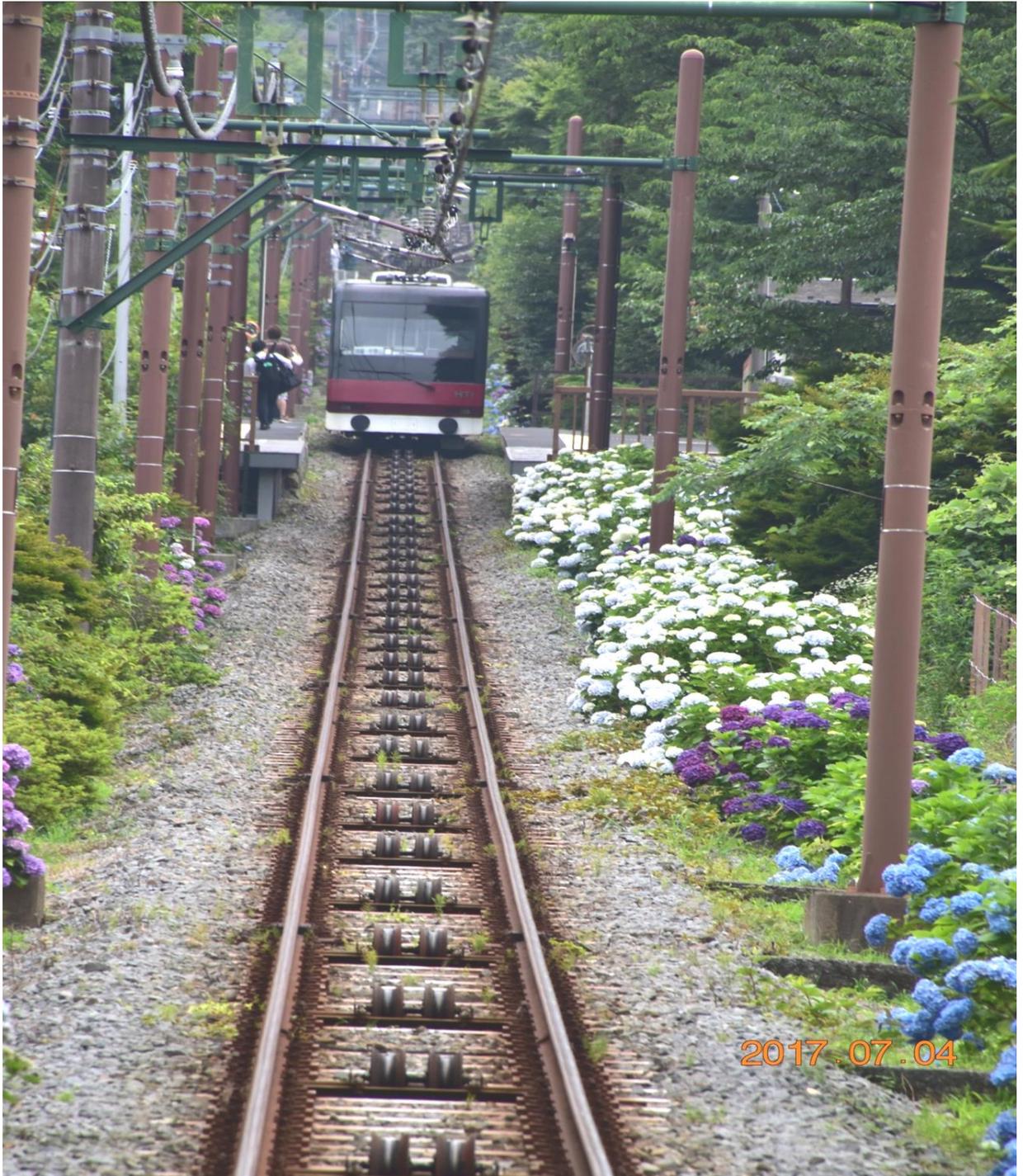


夏

银杏会

第33号



平成29年9月19日

箱根登山ケーブルカー

梅雨空の箱根路



「そうだ、ロマンスカーで箱根に行こう。」小田急のコマーシャルに誘われて箱根路を旅した。7月に入って沖縄は梅雨明けというが、北九州では連日の集中豪雨により大きな被害が出ていた。ここ関東地方はこのところ長雨はなく蒸し暑い曇り空の日が続いており、この日も梅雨特有の暑い朝を迎えていた。

小田急成城学園前駅発10時34分の特急ロマンスカーに乗り、银杏会メンバー9名で一路箱根湯本に向かう。町田駅を過ぎた辺りで早くも各人が用意してきた昼食の店開きが始まった。旅の途中、車内で食べる弁当は旅の大きな楽しみのひとつでもある。ようやく実現した一泊旅行の話しに花が咲き退屈する間もなく予定通り箱根湯本駅に着いた。

平日でも箱根湯本は旅行客で賑わっており、大きな旅行ケースやリュックを背負った海外からの観光客も多く、箱根町行きのバスも増発されていた。登山バスは関東大学駅伝のコースともなっているつづら折りした国道1号線の急坂をぐんぐん上っていく。バス運転手のハンドルさばきは見事だ。いつも渋滞している宮ノ下富士屋ホテル前を左折して更に高度を稼ぐ。国道1号線最高地点(874m)を過ぎると芦ノ湖畔の元箱根へと下っていく。

芦ノ湖畔の箱根関所跡を見学する。江戸時代、大名行列や当時流行した庶民によるお伊勢参りなどが多く、東海道を往く旅人を取り締まる箱根関所

を通過するには通行手形が必要であったが、今は通行料500円を支払えば何人であろうと許される。現在、当時の大番所足軽番所等が復元されており往時の様子を覗える。また不法通行を見張る遠見番所の高台に上ると眼下に芦ノ湖が見渡せる。江戸口御門に近く茶屋があり、暫し休息して味噌田楽をいただく。この先、関所を無事通過した旅人の行く手には箱根峠越えがあり、道は次の宿場町三島へと下っていく。京の都は遙かなお遠い。



箱根関所跡に近い箱根町港から観光船に乗って芦ノ湖の湖上散歩を楽しむ。乗船したビクトリア号は18世紀のイギリスの戦艦をモデルにしたもので、甲板に立ち湖上を渡る風に吹かれていると、若い頃胸躍らせて観た外国の海洋活劇映画の登場人物の気分になれる。その箱根海賊船は元箱根港を出港して直ぐ右舷に湖畔に立つ箱根神社の赤い鳥居を見て、雄大な駒ヶ岳、箱根で最も高い神山(標高1438m)の山容を見ながら約40分桃源台港へ向かう。



今夜の宿の小田急箱根レイクホテルは桃源台に近く予定通り午後4時頃到着。ホテルは2階建の瀟洒な建物で高台にありロケーションも良く、落ち着ける雰囲気である。先ずはゆっくり温泉に入り旅の疲れを癒す。午後6時からお待ちかねのディナー。ビールで乾杯して美味しい西洋料理をいただく。飲むほどに酔うほどに話は弾み、本日のメインイベント懇親会は幹事部屋での二次会へと続く。深夜、露天風呂に独り入り見上げると雲間に微かに光る星があった。

翌朝も高曇りの空で、ホテルを9時30分に発ち大涌谷へ向かう。

芦ノ湖畔の桃源台駅（標高741[㍎]）から大涌谷駅（1044[㍎]）まで標高差300[㍎]を箱根ロープウェイで一気に上がる。360度ガラス張りの大型ゴンドラに乗って絶景の空中散歩を楽しむ。その昔、噴火によって誕生した大涌谷は今もなお火山活動が続いており、硫黄を含んだ火山ガスが絶えず噴出している。そして山肌を削り取ったような噴火口の荒々しい光景を背にして反対側に行くと、そこには雄大な麗峰富士が眼前にある。両翼に流れるような裾野を見せる富士山の山容を妨げ

るものは何ひとつない。今日の富士山は頂上に見事な笠雲を被っていた。1個食べると7年寿命が延びるという名物の黒たまごを皆で食べた。ロープウェイを乗り換えて早雲山駅から強羅駅まではケーブルカーで下りる。昼食は箱根湯本で摂ることとし、強羅では途中下車せず箱根登山電車に乗る。この時期、夏の風物詩である「あじさい電車」が走る。強羅駅（標高553[㍎]）から箱根湯本駅（108[㍎]）まで約40分、400[㍎]の高低差をスイッチバックしながら走る沿線には約1万本のあじさいが咲き見事な風景を楽しませてくれる。

箱根湯本駅前の蕎麦店で遅い昼食を済ませて、それぞれお土産等の買い物がてら近辺を散歩する。駅前商店街を抜けて湯本橋を渡った川向こうに昔の源泉取り入れ口がある。その昔、連歌師宗祇が旅の途中この地で亡くなったという。この付近には古びた老舗旅館もあり箱根温泉の歴史を物語る風景がある。

予定の時刻に箱根湯本駅に全員が集合して小田原経由で帰途に着く。

この2日間、心配された雨にも降られず梅雨空とはいえ比較的天候に恵まれて旅行を十分に楽しむことができたのは幸運だった。そして夏の一夜ゆっくり語り合うこともできた。また、黒たまごを食べて少なくとも1年～2年は寿命が延びたのではないだろうか。

银杏会研修旅行お疲れ様でした。

(K. I)

夏の朝

「今日は気温が三十度なります」という天気予報が多くなってきた六月の半ば、これまで体力維持のため1日8,500歩、時間2時間を目標でやってきたウォーキングを、7月からは朝の涼しい5時開始に変更することにした。自宅から東西南北四コースを設定し、その中からその日の気分で自由に選ぶことにした。

7月3日、自宅→千歳船橋駅→森繁通り→温泉プール→祖師谷大蔵駅→東宝撮影所→馬事公苑→自宅というコースを選んだ。

朝五時、半袖のスポーツシャツにトレパン姿ではちょっと涼しすぎる気はしたが、歩くうちに次第に快適な気分になってきた。

日の出の5時半頃に希望ヶ丘・温水プール前を通過する。ここには世田谷区のごみ焼却炉があって、近隣の大量のごみが集まってくる。隣り合わせの希望ヶ丘公園、芦花公園、区の大小の公園内にある森林はトリにとって絶好の居住(=餌)環境なのだろう、カラスが沢山住みついている。

休憩を兼ね温水プールの玄関先にあった掲示板を5分ほど立ち止まって読んだ。

隣のゴミ清掃事務所前のヤマブキの花が真っ盛り、綺麗に手入れされている植え込みで足を止めまた5分ほど眺めていた。肩をそっと叩かれたので振り返った。誰もいない。右後方で黒い影が道路寄りの木の上にスウット飛び立って止まった。

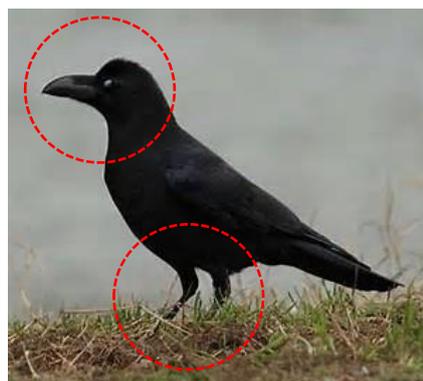
カラスだ！12年程前の夏にも自宅の近くでこの肩叩きにあったことを思い出した。子育て中の時期に巣の近くを歩くと、警戒している親ガラスが後方から歩行者の頭にケリをいれてくるのである。フワッとした羽が肩から頭をなでる。足で蹴られたというよりも羽で軽くなでられた感じだった。

「やったな！」と見上げる。カラスはケリを入れたにも拘わらず、ソッポをむいて「何にもしてないよ」、人間なぞ眼中にないといった態度をとっている。脅しをかけるつもりで私は石を投げつける振りをした。これがいけなかった。この時、左ヤマブキの植え込みあたりから別のカラスが飛び出してきて私の頭にケリを入れた。番の^{つがい}カラスだ。先ほどのカラスの方に目を向けると、そのカラスが今度は左上方から急降下してきて三発目のケリを入れてきた。瞬間危険を感じた。

10メートル先に環状八号道路にかかる跨線橋がある。動揺した私は橋の上に逃げようと駆け出した。跨線橋の上に逃げ登っていく間にも、更に二回のケリを受けた。合計5発の攻撃を受けたことになる。

後日、私はカラスの習性について詳しく知るため近所にある桜丘図書館に行ってカラスについての研究書を調べてみた。

ハシブトガラス



ハシボソガラス



私たちが世田谷で見るカラスは、ハシブトガラスとハシボソガラスで、今回のハプニングはハシブトガラスの番によるものであることがわかった。

カラスの特徴 前頁写真の  部分を参照

	ハシブトガラス	ハシボソガラス
嘴	太い	細い
額	嘴から額のラインが出っ張っている	嘴から額のラインがなだらかで細い
鳴き声	カア、カア	ガア、ガア
歩き方	両足をそろえてピョンピョンと跳ねながら移動することが多い	片足ずつ交互に出して二足歩行することが多い
習性	本来は森林型 都会にも住む	本来は草原型 都会にも住む

カラスの攻撃

カラスの^{つがい}番の戦術は、相手の前後からの挟み撃ちで、前方のカラスが相手の注意を引き付けさせておき、その間に後方のカラスが背後から攻撃をします。これを役割交代で延々と執拗に繰り返すのです。この阿吽の呼吸、コンビネーションの良さは“お見事”の一語に尽きます。大きな相手も多数に無勢ではたまったものではなく、たいてい逃げ出してしまうます。

桜丘図書館で見た
太田真也著「カラスはホントに悪者か」から引用

子育てのピークは4月から7月頃で、この時期、親ガラスは子育てで神経をとがらせている。カラスは、巣の中を覗き込まれることを警戒しているのだ。私が温水プールの掲示板を読むため5分ほど立ち止まり、次いで植え込みのヤマブキの花に5分ほど足を止めて眺めたことは、カラスの目には自分達の生活領域を覗かれ、荒らされると映ったのだろう。これが親ガラスの攻撃につながったものと思われる。

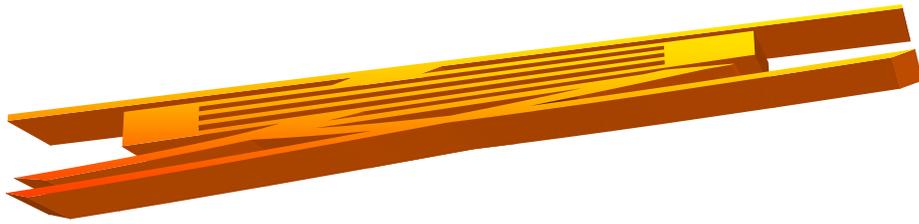


カラスの攻撃
足蹴り

夏の早朝計画は初めから思わぬ障害に会い、カラスのいる森林内での早朝ウォーキングは危険だということで中止せざるをえなくなってきた。

子育てに励むカラス親子の生活の中に私が勝手に後から入り込んでいって、頭をはたかれ、首を蹴られることを心配しながらあえてウォーキングをする必要もない。

君子危うきに近寄らず！ 触らぬ神に祟りなし！ 5月～9月の時期に限って、別の散歩コースに切り替えることにした。



夏とは6, 7, 8月をいいます。
四季の第二、春と夏の間には挟まれ一年中で最も暑い季節であります
高温 多湿 日中が長く夏バテせずに栄養のある物を食べて乗り切りたいですね、夏野菜はキュウリ、ナス、トマト、ピーマン、オクラ、トウモロコシ、ニラ、カボチャ、ズッキーニ
それで調べていきますと、モロヘイヤ、チソ、パセリ.....

1、モロヘイヤ・・・6月～9月
カロチン、食物繊維、ビタミンB2
ビタミンC、カリウム、カルシウム、鉄分等



2、チソ
カリウム、鉄分、ビタミンB1、B2
ビタミンC シソの香りですが成分はペリアルデイトというものの防腐、殺菌を持っている、その他神経を鎮める働きや食欲増進、下痢や腹痛の改善



3、パセリ
鉄分 100%、その他カリウム、B1、B2
パセリは香りはピネン・アペオールトという製油成分によるもの



4、よもぎよもぎは食用だけでなく薬草や漢方にも用いられ食物繊維含有量が高く肥満防止の働きが有ります



5、大根葉
大根の葉は緑黄野菜に分類されます
Bカロチン、ビタミンC、ビタミンK
葉酸などビタミン、カリウム、カルシウムといった多くの栄養素が含まれています。特にビタミンKはシミ、クマなどの改善のある栄養素です
ビタミンCやビタミンK, 沢山の美肌成分が含まれている大根の葉は女性

の味方です



6、ホウレン草

総合栄養菜と呼ばれ栄養豊富
鉄分、Bカロチン、ビタミンC、カリ
ウム、マガジン、シュウ酸、ビタミン
12、葉酸、マグネシウム、亜鉛、



7、ブロッコリー

ビタミンA、ビタミンB2、ビタミン
C、葉酸、カリウム、プラモイド
クロム、鉄、Bカロチン、スルフオラ
ファン等



8、ケール

ケールは青汁の主な原料として使わ
れています。Bカロチンが100g中
2900g含まれる緑黄色野菜、ビタ
ミンE栄養価の高いやさしいです。



9、春菊

なべ料理の定番地言えば春菊です。
栄養素としてカロテンが豊富ビタミ
ンA、緑色の色素成分があるクロ
ストロール値を下げ血栓を予防する
効果あり



10、小松菜

小松菜は女性に不足な鉄分、ミネラル
が豊富な野菜です。



夏の花

銀杏第32号の表題は、「春」であった。此の表題は易しいようで難しく、思案に余った挙句、撮りためてあった春の花の写真を載せてお茶を濁した。

今回は、「夏」という事なので、引き続き、春の花を撮った後の花を夏の花という事にして責を果たすことにした。

我が家のベランダで咲いた花を中心に、足らぬところはマンションの庭の花を付け足して形を作ろうというものである。

こんな調子でやると、「冬」という題が出た時にはどうすることになるか心配である。

シャボテン (名称不詳)



2017. 5. 23. ベランダにて撮影
我が家のベランダで、ひと夏に数回咲く。夕方から一株に1~7本ほど咲く。然も違う株も同時に咲くので、華やかである。然し、一晩で萎れてしまうので、楽しみは一晩である。写真の株は5本咲いている。花は大きくて、直径13cm程。長さは27cmほどのラッパ状で、中々綺麗である。

エビネ



2017. 5. 2. マンションの庭にて撮影
マンションの庭の隅の半日陰の所に咲いている。地味な花だが、愛好家には人気がある。多摩の丘陵には自生しているが、最近は少なくなった。花の色には株により僅かながら変化がみられる。

つつじ (品種名不詳)



2017. 4. 30. マンションの庭にて撮影
マンションには、各種の躑躅が植わって居るが、オオムラサキツツジ辺りが花の大きさ、色など面から庭の躑躅としては良いかと思う。今回は偶々撮ってあったものから上記のものを代表として選んだ。

カニバシャボテン



2017. 5. 16. ベランダにて撮影。
姿の似たものにシャコバシャボテンがある。

オダマキ



2017. 5. 19. マンションの庭にて撮影

ヒモシャボテン



2017. 5. 9. 撮影

ビヨウヤナギ



2017. 5. 21. マンションの庭にて撮影

シラン



2017. 5. 19. 撮影

キンシバイ



2017. 5. 31. マンションの庭にて撮影

ネジバナ (モジズリ)



2017. 6. 21. ベランダにて撮影
写真のように、右巻きと左巻きがある。

アガパンサス



2017. 7. 8. マンションの庭にて撮影

ムラサキシキブ



2017. 8. 7. マンションの庭にて撮影

ニラ



2017. 8. 7. ベランダにて撮影
ニラは野菜としてトロ箱などで作っているが、花も中々綺麗である。アリマキの害が大きいのが悩みである

野菜は、観賞用も兼ねて種々作っていたが、土の始末が大変なので、種類は随分減らした。特に連作を嫌うものはお手上げである。アブラナ科のダイコンやカブは花も綺麗だが、青虫がたかる。うっかりしていると、坊主にされる。パセリ、ニンジンなどもつくるが、これらはセリ科なので、キアゲハの幼虫がたかることがあるのも楽しみである。

これから「秋」の花の写真を撮りた
めなければならない。

我が家には秋に咲く花はないので、マンションの庭に咲く花を探さなければならないが、ヒガンバナ、キク類、バクモントウくらいしか思い浮かばないのが困りものである。

2017. 9. 5.

K.K

夏 なつ ナツ

今年は何気なく動植物、昆虫に異変が起きているのではないかと感じます。ツバメのヒナが育たないドバトにも巣作りしても卵が化いない、公有害、気候変化か自然変化が起きているのではないかと。公園畑を散歩して花や樹木の葉に青黄の葉が風もないのに落ちている。蟬にも異変成虫に脱皮できずに命落とした幼虫多く見かけた。

栗の季節は春に白く長い花を咲かせ早秋には大きく実った毬栗の収穫期になるが異変が起きたか、季節外れの狂い咲き何れも実は育たない。



ある幼稚園の芝生に植えられた老樹桜に若木が生え親子の様な桜綺麗な花を咲かせてくれた、気候異変か害虫か分からないが、無残にも老樹の青葉黄色に変化枯れ始めた、若木も親の養分吸収出来なくなり残念ではあるが親子桜見ることはない。近くに青々と茂る他の樹より水分多いミズキ、此の樹も青い葉で風も無く落ちている夏に多少樹林では見かけるが青葉で沢山の葉が落ちるのは異常ではないか、枯れないよう願う。



此の櫟も被害をうけているのではないかと落ち葉を視ると茎が乾き葉は赤茶色で沢山の落ち葉、櫟の分厚い皮に保護され幹元に縦の割目があるどうして出来たか分からない。同じ櫟が直ぐ際で生々と成長している櫟は公害に強い樹木とされている。



写真でも明らかな様に葉の色素の違いを前の櫟に枝がよく視ている、異変が起きて葉も黄色に変色して落ちているから枯れるのでわらないか。奥の櫟は生々と青葉を沢山つけ夏の熱い日差しを覆ってくれる。

自然環境を大切に??

真夏の太陽を浴びて強烈に熱く咲く猿滑のフリルをつけた多彩の花。公害に強い街路地の猿滑に白い花を視ては汗を拭く、九月の終り頃まで咲いている。



此の花も熱い向日葵、太陽に向かって咲くが曇りや雨降時花は下向で太陽光が出ないと上向きしない。



垣根や公園で見掛けるモクゲ、夏から秋にかけて沢山の花が咲く、花の種類も多い。綺麗な花ですが雨に濡れて落ちると、滑る々に溶ける花。



百合も夏の花、大きな白い花で香りも素晴らしい、花数によって百合は年齢がわかる。百合の球根は長くても15年から18年位で分裂（子別れ）して幾つかの強い実が成長して1年事に花一つずつ咲き10年後には10個の花を咲かせる。観賞用に改良されたゆりは250種類ある。



アカシヤも夏の花、密の多い花樹でミツバチ、昆虫、鳥類の栄養補給の壺。アカシヤの蜂蜜は食卓の高級調味料でもある。



箱根研修旅行について

当日まで天気予報ばかり気になりましたが、幸せなことに良い天気に恵まれました。

一泊の旅行でしたがとても楽しい旅行となりました。

10代の頃より小田急線のロマンスカーに乗ることを夢見ており、今回ロマンスカーに乗れたのは夢のような話でしたが、箱根湯本までアツという間に着いてしまい、少し物足りませんでした。

ロープウェイにも乗りましたが、若い頃1度乗ったことがありましたが、その時は11月でしたので、紅葉などもありましたが、今みたいに整備されていなかったのを覚えています。今回の旅行はとても緑がきれいで、アジサイの花がとてもきれいだったのが印象に残っています。

レイクホテルは新築らしく、新しい建物で気持ちの良く過ごせました。帰りはケーブルで箱根の山々を心ゆくまで堪能させていただきました。

とにかく年齢のせいかわ若い人達について行くのが精一杯のように感じました。でもどうにかついて行くことができ、幸せだと思いました。色々と心に留めて来たつもりですが、きっと忘れてしまうのが恐ろしく思います、そしてパソコンの银杏会にも頑張っについて行く決心をした次第です、いろいろありがとうございました。

